

総務常任委員会 管外視察報告書

西宮市議会議長 大石 伸雄 様

令和2年(2020年)2月10日

■視察日時 令和2年(2020年)1月31日(金)10時～11時30分
※終了後、当地にて総務常任委員会を開催

■視察委員 篠原 正寛(委員長)
たかの しん(副委員長)
澁谷 祐介
中尾 孝夫
野口 あけみ
福井 浄
やの 正史
山田 ますと

■視察先

富士通デジタル・トランスフォーメーション・センター
大阪市北区中之島3-3-23 中之島ダイビル10階

■視察事項

西宮市行政経営改革に資するICT等の最新技術について

■視察概要

○富士通株式会社の担当者より「スマート自治体へ向けた富士通の取組みと最新技術の活用について～AI/RPA等を利用した行政サービス改革に向けて～」と題する講義を受けた。

《主な内容》

- ・スマート自治体の推進に係る国の動向
- ・AI(人工知能)の概要と、自治体における導入事例
- ・RPA(業務過程の自動化)の概要と、自治体における導入事例、デモ動画による実演
- ・スマート窓口、データ利活用等の取組み

○講義後に質疑応答の時間が設けられ、自治体におけるICT導入の全体像や、本市への導入を見据えた具体的な課題について、闊達な議論が行われた。

○音声認識や自動翻訳等、最新のICTに関する展示を見学した。

■意見・感想

ICT の活用は行政経営改革における重要なテーマの一つであり、「スマート自治体」推進は国の掲げる方向性でもある。実演を含めた講義を受け、質疑応答の場で議論を行ったことにより、各委員の理解が深まった。今回の学びをふまえ、総務常任委員会における今後の議論について、より精度を向上させていく必要がある。

ICT 活用については、昨年 11 月の管外視察においても関東地方の自治体および総務省を訪問したが、今回はソリューションを提供する民間企業の視点でお話を伺ったことが大きな特徴である。現場目線での課題整理や、複数自治体との業務経験を基にした見解など、行政とは異なる立場からの知見を得られたことは、大きな収穫であった。

